

JRAT 宮崎より報告 4月 21 日

皆様

宮崎 JRAT 第 1 隊（鈴木、山下）です。

21 日午前一度帰ります。

16 日未明に本震が発生し、16 日昼に出発、16 日夜に鹿児島 JRAT（堂園先生、緒方先生）と共に現地に入りました。熊本 JRAT スタッフ（熊本機能病院 PT の三宮さん、合志第一病院 PT の河野さん）と不眠不休で対応しました。余震が続き、震度 3 では気づかないほど鈍ってきた人も多数おり、一方でその都度また本震か？と、安心できない状況が続いています。情報が全くないまま、何もかも状況がわからないまま無我夢中で対応し、今現在も続いています。午前の情報が午後には変わり、次の日にはまた激変する、といったことの繰り返しでした。

状況の見通しが立たないまま、それぞれのスタッフが即時に決断してきたつもりです。しかし、次の瞬間に状況が変わり、修正するといったことの繰り返しでした。県庁での会議の途中に、大きな揺れと同時に緊急地震速報が鳴り、行政担当者や DMAT の先生たちの怒号が飛び交う状況でした。

自ら被災されて自宅と病院も大きな損傷を受けながらも JRAT の活動を支援してくれている熊本機能病院の皆さん（三宮さん、リハ室のスタッフ、中西先生、理事長先生、他の職員の方）、本当にご苦労様です。三宮さんと同じ量の仕事をされている合志第一病院の PT 河野さん、本当にご苦労様です。山鹿温泉リハビリ病院の田代先生、熊本リハビリ病院の山鹿先生、熊本託麻台リハビリ病院の平田先生、その他諸先生方のリーダーシップで熊本のスタッフの皆様の動きに敬意を表します。新たに加わってくれたスタッフが猛烈な勢いで仕事をしてくれており、現在も目まぐるしい変化に対応してチーム員を増員中です。本日も朝早くから益城へ向けて佐賀 JRAT チームが出発しました。宮崎では JRAT 宮崎のメンバーが宮崎 JRAT 本部を立ち上げ、いろいろな対策を連日検討してくれています。JMAT 宮崎隊に、リハスタッフを含めるようにしてくれました。

少しでも前向きな情報としては、今からは JRAT だよ、これからリハビリの出番で重要だよ、おーっ！ JRAT がいる!!、という声を非常に多く聞くことです。JRAT という名称もかなり浸透してきました。保健師さん、保健所長、厚労省の医師、県や市の職員、DMAT、JMAT、日赤の医療チームなどなど、本当に色々な人から声をかけて頂いています。3.11 以降の災害リハの活動と、今回発災直後からの熊本 JRAT の広報宣伝活動のおかげだと思います。山鹿温泉の田代先生が県全体の会議でも積極的に発言してきました。これからは、それらの期待に応えないといけません。全国の JRAT 関係者のスタッフも、JRAT を知らなかったというリハビリ関係者の皆さんも、是非ご協力をお願いします。これからは本番です。（お手伝いに来ていただける方は、熊本の人に対して、くれぐれもご配慮をお願いします。）

日南市立中部病院リハビリテーション科
鈴木幹次郎 MD, 山下達也 PT